



2020年12月17日  
ペプチドリーム株式会社  
<https://www.peptidream.com/>  
(証券コード：4587 東証第一部)

## 大鵬薬品との PDPS 自動化プラットフォームの運用に関する 非独占的ライセンス許諾契約締結のお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、以下「ペプチドリーム」）は、大鵬薬品工業株式会社（代表取締役社長：小林将之、本社：東京都千代田区、以下「大鵬薬品」）との間で、ペプチドリーム独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS（Peptide Discovery Platform System）の自動化プラットフォームを用いた運用に関して、大鵬薬品に対する非独占的ライセンス許諾契約（以下「技術ライセンス契約」）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本技術ライセンス契約の締結に伴い、当社は技術ライセンス料（契約一時金）を受け取るようになるほか、PDPS を用いることで創製された医薬品候補化合物について設定されたマイルストーンフィー及び上市後の売上高に応じたロイヤルティを受け取る可能性があります。また、PDPS 自動化プラットフォームの運用に用いる PDPS 試薬の供給については、別途両者間で販売契約が締結されます。なお、これら技術ライセンス料等は当社の売上高として計上されますが、その金額については、大鵬薬品との契約に基づき非開示とさせていただきます。また、これまでの技術ライセンス契約と同様に、ペプチド-薬物複合体：PDC（Peptide Drug Conjugate）は本技術ライセンス契約に含まれておりません。

大鵬薬品は、低分子を用いた従来の創薬に加えて新しいモダリティである中分子を用いた創薬に注力していますが、PDPS を活用することで中分子創薬の可能性を広げ革新的な新薬創製の成功確率の向上を目指します。

### 【ペプチドリーム株式会社 取締役副社長 舩屋圭一のコメント】

「今回、大鵬薬品に、当社の PDPS による特殊ペプチドのスクリーニング技術の有用性を理解頂き、PDPS 自動化プラットフォームの導入を決定されたことを大変うれしく思っております。これにより、従来手法では創薬研究が困難だった治療標的等を含めて、大鵬薬品の創薬研究が大きく加速し、新たな治療薬の開発に貢献していくことを期待しております。なお、当社は PDPS 自動化プラットフォームや試薬の供給のみならず、広範な範囲で大鵬薬品の PDPS 運用をサポートしてまいります。」

### 【大鵬薬品工業株式会社 常務取締役 宇津木照洋のコメント】

「ペプチドリーム社の創薬プラットフォーム技術：PDPS は、特殊ペプチドを含む圧倒的な化合物多様性と洗練された自動スクリーニングシステムにより、これまで創薬が困難とされた治療標的（undruggable targets）に対する創薬の可能性を広げるものと考えております。私たちは、この

PDPS を活用した革新的な創薬研究を推進し、治療選択肢のない患者さんに新薬が届けられるよう尽力してまいります。」

**【ペプチドリーム株式会社について】**

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という創業理念のもと、2006年7月に設立されました。独自の創薬探索システム PDPS (Peptide Discovery Platform System) を用い、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数 (数兆種類) 合成し高速で評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創生、リード化合物の選択、もしくはファーマコフォアの理解を極めて簡便にしかも効率的に行えるようにしました。これによりペプチドリーム株式会社は特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

ペプチドリーム株式会社 IR 広報部 岩田

TEL : 044-223-6612